

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習に意欲的に取り組む児童が多い。内容理解や音読の技能も高まってきている。</li> <li>・相手意識をもって話したり、聴いたりすることに課題がある。</li> <li>・自分の考えを分かりやすく文章に表すことに課題がある。（表現の仕方、語彙の不足）</li> <li>・物語文を場面の变化に着目して読み取れる児童が多いが、説明文では、筆者の考えを基に自分の考えをもつことに課題がある。</li> <li>・文法、文字や語句、漢字の理解に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書教材以外の音読にも取り組ませ、語彙力や表現力を高める。</li> <li>・友達と意見を交流する機会を意図的に設け、まずは、友達の考えを聴くことの大切さや楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・様々な種類や分量の文章を書くことに慣れさせる。書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を友達と伝え合うことで、良い表現に触れたり、推敲の参考にさせたりする。</li> <li>・説明文では、内容の中心となる語や文を選んで、決められた文字数で要約する学習を設定する。また、筆者の考えに対する自分の考えをもち、共有する時間を設ける。</li> <li>・文字や語句、漢字、文法のプリントなどを活用して理解を深める。（けやきタイムなど）</li> <li>・国語辞典や漢字辞典を引いて自分で調べることができるように、環境を整える。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県の位置や県庁所在地、特徴に興味をもつ児童が多い。</li> <li>・資料や生活の中の問題から、自分たちで学習課題を立てることができた。</li> <li>・地図、写真、グラフ、年表などの複数の資料を読み取ったり、読み取ったことを基に考えたりする力を高める必要がある。</li> <li>・調べたことをノートやポスター、新聞などに表現する力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県クイズを活用し、都道府県に対する理解を深める。</li> <li>・問いに対して、最後まで意欲的に学習を進めていけるように、適切な資料を用意したり毎時間のめあてを明確にしたりする。</li> <li>・複数の資料から情報を選択、比較し、整理できるよう、資料の見方を指導し、読み取る活動を積み重ねる。</li> <li>・学習課題に対する解決方法や社会への関わり方について、根拠を明らかにして説明したり話し合ったりする機会を意図的に設ける。</li> <li>・資料の読み取り方やまとめ方のよさを児童がイメージできるように、手本となるノートや作品を紹介する。</li> <li>・単元のまとめの学習で作品を掲示して学年で見合うことで、表現力を高める。パンフレットやポスターなど様々な方法でまとめ、経験値を増やす。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをノートに分かりやすく表現できるようになってきている。</li> <li>・計算力の正確さと速さや、コンパスや分度器など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに表現した考えを発言できるよう励ましていく。</li> <li>・けやきタイムに、計算プリントなどに繰り返し取り組んだり、毎日の宿題に計算ドリルの問題を計画的</li> </ul>	

	<p>の用具の使い方について個人差がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題の内容理解をスムーズに読み解いたり、深く考えたりすることが得意ではない児童がいる。</li> <li>問題場面を図や数直線、言葉、式でノートに表し、それぞれを関連付けながら簡潔な言葉で説明するのに時間を要する児童がいる。</li> </ul>	<p>に取り組ませたりして、基礎基本の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解決の必然性のある問題を提示し、問題→めあて→（見通し）自力解決→集団解決→まとめ（適用問題）を基本とし、見通しをもって活動したり、考えたりできるようにする。</li> <li>問題場面を図や数直線、言葉、式など、多様な方法でノートに表現できるようにする。</li> <li>友達の考えを自分の言葉で説明する活動を取り入れ、他者の考えに積極的に触れることで、そのよさに気付けるようにする。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の生活場面から問題を見いだすことができる児童がいる。</li> <li>実験や観察に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>仮説を立てるときに、生活経験と結び付けながら根拠を明確にして表現することに課題がある。</li> <li>実験道具の正しい使い方について差がある。</li> <li>実験結果の予想と結果を照らし合わせて考察をしていくことに慣れていない児童が多い。</li> <li>実験や観察の結果を分かりやすく表し、結論を導出する力をさらに高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題→仮説→結果の予想→実験・観察→結果→考察→結論を基本とし、児童が見通しをもって活動したり、考えたりできるようにする。</li> <li>仮説を立てる際に理由を明確にノートに表現する指導を重視する。</li> <li>体験を伴って実験道具の正しい使い方を理解できるようにする。</li> <li>なぜ実験結果がそうなったのかについての原因を考えるようにし、結果の予想と照合しながら結果から言えることを考察とする。</li> <li>考察から問題に立ち返って結論を導き出し、ノートに簡潔に書くことを積み重ねる。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーの息遣いに気を付けながら吹ける音が増えている。歌とリコーダーを合わせることができた。</li> <li>歌詞から様子を想像したり強弱の表現を工夫したりして歌う学習に取り組んだ。</li> <li>歌声や音をじっくり聴いて感じ取る力が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低い音に続いて、サミングでの高音が吹けるように指導する。歌とリコーダーを合わせたときの聴き合う心掛けを今後も指導する。</li> <li>イメージを膨らませて表現することで、よさや美しさを感じ取ることに繋げる。</li> <li>聴くポイントを明示し、曲や音を最後まで聴くことを徹底する。</li> </ul>	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>友人と協力して図工の学習に取り組んでいる。</li> <li>見通しをもって活動することが苦手である。</li> <li>既習事項を活用して表現することが少ない。</li> <li>自分のつくりたいイメージをもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者や友達と考えながらつくる。手順を細かく分けて考えるよう指導する。</li> <li>計画的な造形体験を積みませ、技能の定着を図る。</li> <li>表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に運動に取り組むことができる。準備や片付けも協力して手際よく行うことができる。</li> <li>チームでアドバイスしたり、励ましたりしながら運動することができる。</li> <li>勝敗にこだわるあまり、友達の動きに注目し、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育ノートを活用し、本時の学習に見通しをもって取り組めるようにする。</li> <li>グループで作戦を考えたり、その結果を振り返ったりする時間を設ける。</li> <li>試合や練習の様子を動画に撮って客観的に振り返り</li> </ul>	

	良さを見付けることができない。 ・運動の動きを具体的に思考し、判断して行動することに課題がある。	ができるようにする。 ・運動の前後に、技能のポイントを動画やイラストを用いて具体的に紹介する。	
--	---	--	--